



## 実証実験 認知症初期集中支援を ICT 機器でサポート

### 概要説明

四條畷市は、新しい技術を取り入れて地域課題を解決する活動の一環として、ソフトバンク株式会社、くすのき広域連合四條畷市域認知症初期集中支援チーム、地域包括支援センターと連携し、認知症の早期発見に向けた新たな取り組みを始めています。

### 認知症初期集中支援とは？

認知症または認知症の疑いのある人やその家族を、医療・介護・福祉の専門職が訪問し、必要に応じて認知症に関する情報提供や医療機関の受診、介護保険サービスなどの適切な利用につなげるための支援を行うもの。四條畷市では、認知症初期集中支援チームを平成30年1月から設置しています。

- 支援チーム 医師や保健師または看護師、精神保健福祉士などで構成
- 支援の対象 40歳以上で、自宅で生活、かつ認知症が疑われる人や認知症の人で、「認知症の診断を受けていない」「継続的な医療を受けていない」等の条件に該当する人。(市ホームページより)

→ 「認知症初期集中支援チーム」にICT技術を導入し、  
対象者の表情などをリアルタイムで専門医が確認・サポートできる体制を構築。

これまで 支援チーム員（保健師・看護師など）が対象者宅を訪問。  
その後、認知症サポート医含むチーム員会議で訪問結果を共有し、初期対応の方針を決定。



課題 情報提供時、相談時における工数負荷の増加  
情報提供時に、伝達漏れや認識の相違などのリスクあり（正確に伝えきれない）  
対象者の表情や発言、会話の間など、視覚的な情報が欠如

今回の取り組み 対象者の自宅を訪問する際、認知症の専門医などがICT機器を活用し、  
オンラインで対象者の状況を把握、助言を行います。(対象者に動画撮影の同意を得たうえで実施)

※ソフトバンク株式会社は、ICT機器と通信回線の提供を行っています。



- メリット**
- ★訪問時の状況をリアルタイムで専門医が確認・サポート
  - ★訪問担当からの情報共有作業を短縮できる
  - ★認識の齟齬や状態の伝え漏れなどを軽減できる

実証実験期間：令和3年3月15日(月)～6月15日(火)

実施体制：四條畷市（実施主体）、ソフトバンク株式会社、くすのき広域連合四條畷市域認知症初期集中支援チーム、四條畷第1・第2・第3地域包括支援センター

### 問い合わせ

実証実験

田原支所 担当：笹田(支所長)

☎0743-78-0175

認知症初期集中支援

高齢福祉課 担当：阪本(課長)・北村(課長代理)

☎072-877-2121 (代)